

学科名	生物環境化学科、経営ビジネス学科、建築・デザイン学科、電気通信・電気電子工学科						
科目名	日本語の技法						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	1年後期		
必修・選択の別	必修						
担当者	藤本 晃嗣						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・短い日本語の文章の構造を把握し、基本的な内容を理解することができる。 ・文章全体の内容を把握するとともに、必要な情報を的確に読みとることができる。 ・正しく適切な日本語で、自らの専門について、簡単な説明ができる。 ・論理的な文章を書くための基本的な文法事項を理解し、それをもとに日本語の文章の作文ができる。 ・日本語の語彙を増やし、また新たに学んだ漢字を正しく書くことができる。 						
日程と内容	9/15 第1回 ガイダンス 9/29 第2回 ②作文編 第5課 テーマを決める 10/6 第3回 ①読解編 第6課 研究者の二つのタイプ ⑤漢字・語彙編 第6課 10/13 第4回 ②作文編 第6課 理由・経過を述べる 10/20 第5回 ①読解編 第7課 地球温暖化 ⑤漢字・語彙編 第7課 10/27 第6回 ②作文編 第7課 定義をする 11/10 第7回 ①読解編 第8課 風呂場の戸 ⑤漢字・語彙編 第8課 11/12 第8回 ②作文編 第8課 判明していることを述べる 11/17 第9回 ①読解編 第9課 手で数を表す ⑤漢字・語彙編 第9課 11/24 第10回 ②作文編 第9課 問題点を述べる 12/1 第11回 ①読解編 第10課 文明はどのように伝わったかー1「茶」 ⑤漢字・語彙編 第9課 12/3 第12回 ②作文編 第10課 引用する 12/15 第13回 ①読解編 第11課 文明はどのように伝わったかー2「タとハタケ」 ⑤漢字・語彙編 第9課 12/22 第14回 ②作文編 第11課 解決策を述べる 1/12 第15回 定期試験 1/19 解説・総復習						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	50%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	読解については短めの日本語の文章を読み、必要な情報を読みとることができるようになった。作文については、研究計画書を書くことをイメージしつつ、基礎的な文法を身につけた。						
反省点	人前で発表するなど、より多様な学習方法を取り入れることができればよりよかったものと思われる。						
来年度の計画	留学生の日本語レベルに対して適切な指導ができるよう心がけたい。やはり、留学生に対する日本語の講義は必要であると思う。						
授業評価アンケートに対するコメント	少人数クラスであるため、細かな指導ができたと思う。						
履修登録者数	6名	定期試験 受験者数	6名	合格者数	6名	合格率	100%